

1 モデル事業

子ども・若者が抱える多様かつ複雑化した問題に取り組む団体を公募し、補助金の交付やアドバイザー派遣等による支援を行いました。

(1) 一般社団法人 茨城県子ども会育成連合会

- 事業名 2025 子ども会リーダー研修会
- 内容 水戸市少年自然の家において、中高生がリーダーとなって、安全啓発活動やレクリエーション、創作活動などを行った。



(2) 笠原中学校区青少年育成会

- 事業名 防災教室
- 内容 笠原地区にある小学校2校、中学校1校の児童・生徒を対象に、防災冒険ラリー、カレー作り等の防災教室を開催した。



(3) 不登校から学ぶ親子の会 わたげ

- 事業名 不登校親子の体験活動事業
- 内容 不登校の子と親と一緒に参加できる活動を中心に企画した。遠足や宿泊体験、プレイパークなど行って不登校親子を繋いだ。



2 合同研修会

- (1) 趣旨 子ども・若者が社会から孤立せず、支援の網からこぼれ落ちないように、関係機関・団体等が密接な関係で複合的支援活動を推進するため、地域で活躍する育成者、支援者が知見を広げ、課題や情報の共有を図る。
- (2) 主催 公益社団法人 茨城県青少年育成協会
- (3) 共催 茨城県PTA連絡協議会
茨城県青少年相談員連絡協議会
(いばらき子ども見守りネットワーク)
茨城県生涯学習・社会教育研究会
青少年育成市町村民会議
- (4) 日時 令和7年12月17日(水) 13:00~15:30
- (5) 会場 茨城県立青少年会館(水戸市)
- (6) 内容
 - 基調講演「不登校支援について考える」
常磐大学 人間科学部 心理学科
教授 秋山 邦久 先生
 - 分科会「学校」「地域」「家庭」
 - ①リリーガーデン小学校
 - ②笠原中学校区青少年育成会
 - ③不登校から学ぶ親子の会 わたげ
 - 全体会
茨城県生涯学習・社会教育研究会
会長 長谷川 幸介 先生



秋山先生は、不登校の適切な支援の必要性について、ユーモアを交えて分かりやすくお話しくださいました。

